

環境報告書作成のサポート

SCE-Net ○(正)服部道夫*・(正)郷茂夫・
(正)堀中新一・(正)長安敏夫

1. 環境活動のレポート

1.1 レポートの種類

①ISO14001 審査報告書（非公開）：年に一度、審査機関が対象組織の文書・記録類を審査して規格に適合しているかを確認する。約19千組織(2013/7)。

②エコアクション21(EA21)：環境省主導、エコアクション認証・登録事業者は年に一度、審査人による審査を受ける。所定の項目に従った環境活動レポートがエコアクション21のHPに公表される。約8千組織(2013.12)。その他にも、エコステージ、KESなどの環境活動の審査・登録システムが運用されている。

③環境報告書、CSR報告書、その他の環境活動レポートが作成され、冊子として配布され、各組織のHPに記載され、ネットで閲覧・入手することができる。

1.2 その周辺の動き

①環境報告ガイドライン⁷⁾(初版1997年度⇒・・・⇒5版2012年度、159p)：環境省が環境配慮促進法にもとづく報告書の促進のために作成し、多くの報告書では「参考にしている」と記述している。

②環境報告書に対する顕彰：(A)環境省／環境コミュニケーション大賞(第1回：1997年度～第16回：2013年度)、(B)東洋経済新報社／環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞(第1回：1998年度～第15回：2012年度で休止)の2つの賞がある。受賞した組織の多くは著名な企業であるが、なかに従業員が37人の企業が5回、80人の企業が2回、180人の企業が2回受賞しているのが注目される。

1.3 第三者審査報告書・第三者意見

報告書の内容と信頼性を向上するために

①監査法人による審査「第三者審査報告書」：上記した環境報告ガイドラインなどをクライテリアとして審査した結果を報告している。「コメント(保証をおこなうものではない)」の場合もある。

②第三者による「第三者意見」：有識者による報告書についての評価・勧告、取組みに対する意見表明など。

③記載しない

の3ケースがあり、企業の規模などにはほぼ無関係。

2. SCE-Net CKK グループのサポート活動

2.1 SCE-Net CKK グループの位置づけ

①企業での環境活動の実務経験：環境負荷削減技術の調査・開発・実施、および環境マネジメントシステムの確立・運用(PDCAを回しての負荷削減目標の達成を実施)の実績。

②ISO14001環境マネジメントシステム主任審査員、EA21審査人、環境カウンセラーなどの環境活動の資格にもとづく審査・支援活動の実績。

の2つのバックグラウンドに基づく「環境報告書作成のサポート活動」を推進している。

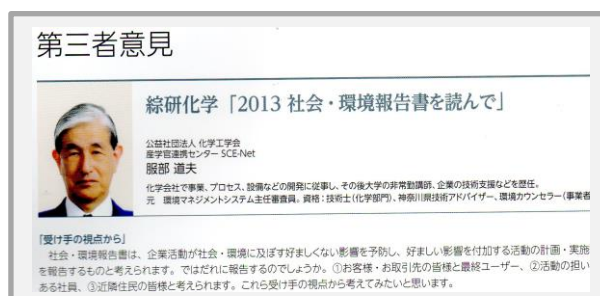
2.2 活動例1. 「第三者意見の作成」

化学工学会会員である綜研化学(株)様からご依頼をうけて同社「2013社会・環境報告書」の第三者意見を作成し、同報告書に掲載された。

①同社は、長年にわたり環境報告書(2007年から社会・環境報告書)を刊行しており、2010年には「第22回アートビリティ大賞アサヒビール奨励賞を受賞している。環境報告書プラザ³⁾で2004年以降の報告書を見ることができる。第三者意見は、有識者(例：お茶の水女子大学 増田教授)が寄稿している。

②手順：2013年度報告書の内容を精査した。また過去の報告書、特に「第三者意見」が言及した項目の内容をレビューした。

以上を勘案し、報告書の内容について「受け手の視点から」「環境負荷低減の視点から」の具体的な意見と期待を述べ、その「期待する」が「達成する」へ進化することを希望した。



2.3 活動例2. 「環境報告書作成のトライアル」

「1.2②項」で従業員100人程度の中小企業が作成した環境報告書が受賞していることから、廃棄物関連企業の環境報告書作成ニーズの可能性に着目し、リサイクル企業であるK社から資料の提供をうけて環境報告書作成のトライアルをおこなっている。

参考文献① 環境報告書を閲覧・入手できるサイト

- 1) エコほっとライン
- 2) CSR 図書館・net
- 3) 環境報告書プラザ/通産省 (EA21 も含む)
- 4) 社会・環境報告書データベース
- 5) 日経BP 環境経営フォーラム
- 6) CSR レポート・環境 goo

参考文献②

- 7) 環境報告ガイドライン (2012年版) 環境省総合環境政策局環境経済課 H24.4